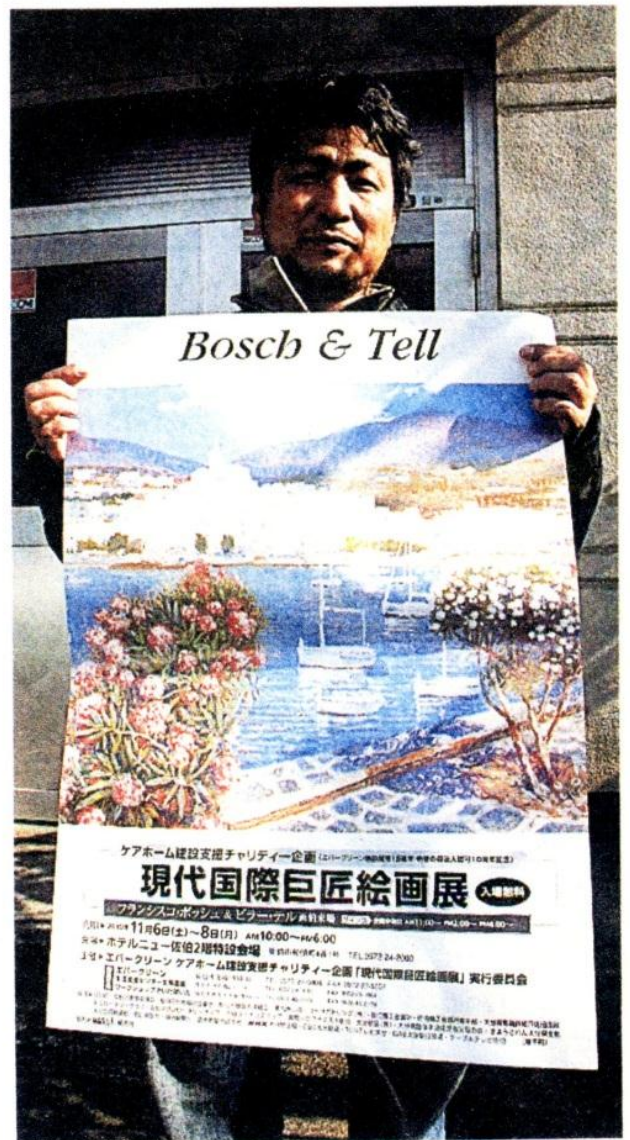


ケアホーム建設を支援



絵画展のポスターを持つ
実行委員長の横原俊一さん＝佐伯市中村東町

巨匠の版画など展示

あすから佐伯

ピカソや東山魁夷ら有名画家の版画作品などを集めた「現代国際巨匠絵画展」が6日、佐伯市船頭町のホテルニュー佐伯で始まる。同市で障害者福祉施設を運営する社会福祉法人「希望の森」が中心となって開くチャリティー展で、売り上げ

の一部は障害者が暮らすケアホームの建設費に充てられる。

絵画展は絵画・美術書を販売する「ほるぷA&I」（大阪府）の協力で実現。ピカソ、ミレー、東山魁夷、平山郁夫のほか、ともにスペイン人画家のフランシスコ・ボッ

シユ、ピラー・テル夫妻の作品など計約150点を展示・販売するという。8日までの期間中、夫妻のサイン会も予定し、絵画展実行委の横原俊一委員長は「申し分ない作品ばかり。絵に関心がある方もそうでない方もぜひ見に来てほしい」と話している。入場無料。問い合わせは実行委（0972・27・5006）へ。

現代巨匠の作品見て

6日から佐伯で

ケアホーム建設支援記念チャリティ企画「現代国際巨匠絵画展」が6日から8日まで、佐伯市船頭町のホテルニュー佐伯で開かれる。入場無料。

市内海崎の障害者福祉施設エバーグリーン（横原俊一管理者）が、施設開設15周年などを記念して開催。スペインの画家フランシスコ・ボッシュとピラー・テル夫妻が来日、会期中は毎日3回サイン会を開く。会場ではピカソ、シャガール、東山魁夷、平山郁夫など国内外の巨匠らの作品150点を展示、即売する。